



SOY CMSを使って
サイトを運営しよう！

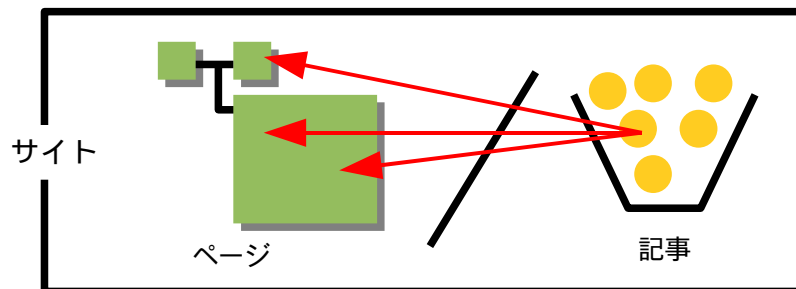
2009.05.14

Webサイトは生き物です。必要な情報が適切な時期にちゃんと表示されるようにしなければ、折角作ったサイトなのに十分に価値が発揮されないことになってしまいます。

今回は、SOY CMSを使ったサイトの更新について制作者ではなく運用者の視点から解説していきます。

● ページと記事

SOY CMSでは、「ページ」と「記事」という二つの単位で情報を管理します。「ページ」というのは文字通りサイト内の各ページをあらわすもので、「記事」は「ページ」の中でよく更新する部分を切り出したものです。「ページ」内に表示されるコンテンツといってもいいかもしれません。



つまり、一旦完成して運用が開始されたサイトを更新する場合は、ページが増えない限り(※1)「記事」の追加や削除、編集を行うだけです。具体的な運用方法はCMSの組み込み方に依存するため、サイトを構築された制作会社様にご確認下さい。

※1 「ブログページ」ではブログのように記事を投稿するたびに決まった形式のページが自動的に新規生成されます。

● 記事管理者の管理画面

SOY CMSでは、記事の管理のみ可能でページの管理を行うことができない管理者「記事管理者」を設定することができます。先に述べましたとおり通常のサイト運営は記事の管理だけですので、一般管理者ではなくこの「記事管理者」として操作を行うことをお勧めします。

- ◆ 管理画面がシンプルで分かりやすい
- ◆ 間違ってページのデザインが崩れてしまうような操作を行う可能性が低い

というメリットがあります。

ログイン直後の画面



記事の新規投稿①



ログイン直後の画面



投稿経路A

「記事の新規作成」
アイコンをクリック



記事新規作成画面



投稿経路B

投稿したい記事の種
類の「ラベル」を
クリック



「記事の新規作成」
アイコンをクリック

投稿したい記事の
種類の「ラベル」に
チェックを入れて
ください。ラベルを先に
選んでいれば、自動的に
チェックが入った状態に
なります

記事の新規投稿②



● 記事新規作成画面



「ラベル」のいずれかにチェックが入っていると、記事タイトルの下にその「ラベル」の説明が、「ラベル」チェックボックスの下にラベルに関連付けられた入力欄が表示されます。

この例では「担当部署名」というのは新着情報ラベルがつけられた「記事」にしかない入力項目です。新着情報ラベルにチェックを入れない限り、入力欄は表示されません。

各項目の入力が終われば、公開設定に気をつけながら「作成」ボタンを押してください。

これで「記事」の新規投稿は完了です。「記事」を公開状態にすれば、サイト内で設定した「ラベル」がつけられた「記事」が表示されるように設定されている場所が更新されているはずで

サイト内のどこにどの「ラベル」がつけられた記事が表示されるかはサイト構築時の設定次第なので実際に制作を担当された方にご確認いただかなければなりません。次ページ以降簡単な例を用いてどういう風にCMSが動いているか説明していきます。

制作会社様へ・・・「ラベル」の注釈や記事投稿画面のラベル欄の色分けは、一般管理者の管理画面「ラベル」タブ (Ver1.2.4以前はエントリー管理タブ→ラベル管理) から行うことができます。詳細に設定をしておけば、管理担当者様に「サイト内のここを更新したい場合はこの色のところにチェックを入れてください」というように説明することが可能になります。

「ラベル」とは？



先にご説明したとおり、SOY CMSにおいては「記事」は「サイト内で更新したいところを括りだしたもので、**新着情報欄や製品カタログ、広告バナー、企業ブログの内容まで、全てこの「記事」で管理します。**

そのため、ただ「記事」を作るだけではその「記事」が何の情報にあらわすものか全く分かりません。そこで「記事」を整理するために使うのが「ラベル」です。

たとえば「**新着情報**」ラベルをつければ、その「記事」は「**新着情報**」をあらわすものだということが分かります。同様に、「**商品情報**」ラベルのついた記事は「**商品情報**」をあらわします。そして、サイト構築時に「**トップページのこの場所には新着情報のタイトルを5件並べる**」という風に設定をしておけば、「**新着情報**」ラベルのついた「記事」を投稿するだけでその「記事」のタイトルがトップページのその場所に新しく表示されるようになります（もともと5件目に表示されていた「記事」は表示されなくなります）。

このような仕組みによりSOY CMSではブログ感覚で「記事」を投稿し、ラベルをつけるだけで「**サイト内のどのページのどんな場所のどんなコンテンツでも**」自由に更新することができるのです。



新着情報のタイトルを5件並べるように設定されている

ログイン後の操作はこれだけ！



新着情報ラベルをつけて、「公開」状態で作成



作成した記事のタイトルが新たに表示されます

※タイトルが4件しか表示されていないのは、「新着情報」ラベルがついた「記事」が4件しかないからです。

同じ形式の記事をたくさん投稿したい場合



通常のサイト運営では記事を投稿するとき、全く新たに記事を書くより既にある記事の内容・形式を使い回して編集することが多いと思います。

SOY CMSではそういうときに便利な機能を二つ搭載しています。

● 記事雛形機能

記事雛形は、あらかじめよく使う記事の書式(本文・追記に限ります)を雛形として設定しておき、それを読み込むことで記事の作成を補助します。



雛形を選択し、「読み込み」を押します。

本文、追記部分に雛形が読み込まれます

あとは内容を編集して保存するだけです。商品の仕様表など、決まった書式の表を作成する場合等に便利です。



● 記事「新規保存」機能

既にある記事を新たな記事として保存する機能、つまりコピー機能です。

作成済みの記事の詳細画面右下にある「新規保存」ボタンを押せば、その記事は更新されること無く編集中の内容が新しい記事として作成されます。



「新規保存」ボタン

既存記事を元に新しい記事を書く場合の他、記事内容のバックアップにもお使いいただけます。

公開状態や公開期間の設定、作成日時はコピー元となった記事の情報そのままとなりますのでご注意ください(公開状態で新規保存しようとする時、警告が出ます)。

既存記事の編集には二通りの方法があります。

● 記事管理画面から探して編集

記事編集画面には既存記事の一覧が表示されますので、そこから目的の記事を探し出し、編集してください。検索機能も搭載しています。



「記事の検索」をクリック

適当な検索条件を入力し、「検索」ボタンを押してください



記事の詳細編集については記事の新規投稿と全く同様です。「新規保存」ボタンについては先述の通りですので注意してください。

● ダイナミック編集機能

ダイナミック編集は、サイトのプレビューから記事の編集を直接行う機能です。どこにどの記事が表示されているのか分からなくなった場合等に便利です。



「ダイナミック編集」タブ



「編集ボタンを表示」にチェック



編集用ボタンが表示されます

編集用ボタンをクリックすると、その記事の編集ウィンドウが開きます

そのほか、「全ての記事を表示」にチェックを入れることで公開期間外や非公開（下書き）設定の記事も表示させることができるので、完全にCSSのあたってのプレビューとしてご利用いただくことが可能です。

ご不明な点がございましたら、フォーラム

<http://www.soycms.org/>

にご投稿下さい。

下記にて有償サポートも受け付けております。

お問合せ先
株式会社日本情報化農業研究所
<http://www.soycms.net/>
<http://www.soycms.org/>
<http://app.soycms.net/>
soycms@soycms.net